

業務実績報告書

提出日 2020年1月14日

1. 職名・氏名 教授 鄭 海東

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 1995年7月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等
中国経済特論 (2単位 隔年開講)	大学院1・2年生
②内容・ねらい	
中国経済の現状に対する表層的な解読でなく、「改革前」と「改革後」の経済政策との比較を通じて、より歴史的・複眼的に中国の経済成長の原因と問題点を理解することを目指す。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
中国経済の実像に迫るため、なるべき卑近の実例を多く挙げるほか、時には日本経済などとの比較も行って、受講生の講義への理解を深めることをはかる。	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
世界経済論(2単位・毎年開講)	学部2年生
②内容・ねらい	
まず国際金融と国際貿易の両側面から世界経済の基本的な形を概観する。それから、世界経済の動きの中で、重要な出来事などの動態を紹介・解説する。これらの歴史と現実の考察を通して、世界経済の見る目を養う。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
学生の集中力を高めるため、よく学生に質問したり、話しかけたりする。また、学生の知識源はかなりマスメディアに偏重している現状に鑑みて、ホットの話題から事例を挙げ、現実の世界経済のあり方は必ずしも大衆の「通念」と一致しないことを理解してもらおう。	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
演習Ⅰ・経済の国際化と中国 (4単位 毎年開講)	3年生
(令和元年度は、学生なし)	
②内容・ねらい	
急成長に伴う中国の世界における存在感が増大する中、中国経済が世界経済との関わり方、中国経済自身の問題点をより客観的に観察・分析する。	
学生の基礎学力と教育の必要性から、範囲は中国経済に限定せず、必要に応じて日本経済を含む世界経済の諸様相を話題に採り入れて学習・議論してもらおう。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
学生の知識源の現状から、マスメディア等によって形成されている「世論」や「通念」と現実社会の実態とのギャップを学生に理解してもらうため、なるべく卑近な実例を挙げて議論を行うことを心がける。	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	
演習Ⅱ・経済の国際化と中国 (4単位 毎年開講)	4年生
(令和元年度は、学生なし)	
②内容・ねらい	
中国は、如何なる改革・開放政策で高成長を可能にしたのか。また、この高成長の影で如何なる問題が進行しているのか、中国経済の将来をどう見るべきか、を議論し、中国経済の実態を知る。	
演習Ⅰでの学習を踏まえて、検討の対象を絞り、掘り下げて考察する。	
卒業論文の指導を行う。広く経済問題を考えてもらうため、卒業論文のテーマは、中国経済に限	

定しない。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生が日頃の知識源が比較的少ないことを意識して、テキストは中国経済の他に、日本経済と関連するものも使用する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読Ⅱ(2単位 毎年開講) 2年生
②内容・ねらい 中国語の経済・社会関連の文献を読むことを通して、語学と経済学さらに中国社会への理解を高める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の語学力を伸ばすため、文献の翻訳の他、発音練習や自己紹介文の作成の練習などの指導をもする。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名
②内容・ねらい
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
④本学における業務との関連性
(3)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 ・「『井岡山土地法』の成立過程に関する研究（上）」『福井県立大学経済経営研究』第36号、2017年3月。（共著） ・「『井岡山土地法』の成立過程に関する研究（下）」『福井県立大学経済経営研究』第37号、2017年10月。（共著）
②著書
③学会報告等 2019.11.24、大阪産業大学経済学部・ACRC 主催国際シンポジウムで報告を行った。 報告のタイトル：米中経済戦争下の「中国製造 2025」と「一帯一路」構想
④その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など 地域公共政策学会理事
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等 経済学部研究会報告（2017年）：「中国の食糧問題と農村自由化政策」
(4)外部資金・競争的資金獲得実績

(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会
②国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥その他 2016 年度に大阪労働学校・アソシエで 3 回講義を行った。
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 「（今の中国）農村自由化政策と食糧大減産」第 145 回さばえライブラリーカフェ（福井県立大学 公開講座 連携講座 2017 年 4 月 29 日）
② 社会人・高校生向けの講座
③ その他 知事進講「中国の食糧問題と農村自由化政策」（福井県庁 2017 年 7 月 14 日）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
附属図書館運営会議委員（2014 年） 経済学部予算研究委員長（2015 年） 経済学部教員評価委員（2012 年～2017） 経済学部予算研究委員長（2015 年） 経済学部予算研究委員長（2016 年） 経済学部予算研究委員長（2018 年）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など